

※開催概要について

この資料は、勉強会の議論の状況を迅速に伝えるために、ファシリテーターがグループ討議の概要を発表した内容等をファシリテーター及び事務局がまとめて整理したものです。個別の意見を示したものではありませんことをご了承ください。

沼津高架 PI プロジェクト

勉強会<合同>第4回 開催概要

8月10日(土)、勉強会<合同>第4回が開催され、沼津駅周辺地区及び原地区から35名のメンバー(うち、代理人4名)が参加しました。冒頭、ファシリテーターからこれまでの成果と本日の勉強会の目的が確認されました。ステップ2(目標の設定)では様々な角度から地域づくりの目標について議論を積み重ねて大きな方向性を共有し、これに基づきステップ3にて複数の地域づくりの方策と評価項目を、ステップ4にて両地区の代替素案の組合せを検討してきました。次回からステップ5の検討を始めることから、当日は代替案と評価項目のまとめを行うことが目的とされました。

続いて、地域づくりの戦略案(代替素案)と代替案、評価項目についてPI運営事務局から説明があり、沼津駅周辺地区の戦略案(代替素案)のうち、A-3案(貨物駅を現位置に存続したまま高架化する案)やB-7案(車両基地のみ移設し土地区画整理事業を実施する案)の整備上の課題が示された他、原地区の戦略案(代替素案)について地区別勉強会での議論の概要が紹介されました。その他、関係機関との調整状況及びステップ5、6の進め方(案)が報告されました。

この後、ファシリテーターの進行のもとグループ検討が行われました。地域づくりの戦略案(代替素案)及び代替案については議論が出尽くしており、案の内容もこれまでの議論が盛り込まれ、予断ない検討ができたことが概ね確認されました。例えば、これまで県の検討に上らなかった橋上駅などの提案が代替案に含まれたことは重要な成果として評価されました。一方で、予断なく様々な案を出し合ったことでかえって実現に向けて大きな課題のある案が含まれているとして、ステップ5の比較評価に向けては、ある程度実現性のある代替案に絞り込む必要性が指摘されました。また、各代替案の投資の重点の置き方について、今後は市の「西の玄関口」として原地区への重点的な整備を要望する意見がある一方、市全体の公共投資のバランスの重要性が指摘されるなど意見交換がなされました。

評価項目に関連しては、費用対効果や民間投資マインドなどに関心が集まりました。費用対効果の「効果」とは市民生活に関連する幅広いものと定義してはどの提案があった他、民間投資マインドについては、ハード面の整備が必ずしも民間投資につながらないとする意見と、一定の開発が行われないと民間投資は引き出せないとの意見があり、客観的データを用いた比較評価が要望されています。

ステップ5,6の進め方についても意見交換を行いました。ステップ5「代替案の比較評価」の進め方については、前述のように検討を煩雑にしないため代替案を絞り込む、また、評価項目については、どの項目も同じ重みではないと考えられることから重みづけを行うなどの提案がなされました。その上で、出来る限り数値などの客観的なデータを使った比較評価が望まれています。また、技術検討アドバイザーには、市のまちづくりの問題点についても指摘が出来る専門家が望ましいとの提案がありました。ステップ6「推奨案の選定」については、県が「推奨案」を選定するに当たって、これまでのPIでの議論を踏まえたものとなるよう信用したいとの要望が示されました。また、勉強会では異なる立場の市民が歩み寄り議論したことが大きな成果であり、市民の議論の成果を形に残したいという提案がありました。

最後に、PI委員会寺部委員から3点、助言・評価がありました。事務局からの資料説明を簡潔にしてグループ討議の時間をより確保すべきであること、評価項目に関する議論が拡散しがちであるので工夫が必要であること等の助言と、価値観の異なる市民が一堂に会して互いの考えに耳を傾け合っている点がこのプロセスの大きな成果であるとの評価です。

次回8月31日(土)は、引き続き沼津駅周辺地区と原地区合同の勉強会<合同>第5回が開催される予定です。